

子どもスペシャリストとして地域社会で活躍するプロになろう!



南九州大学
人間発達学部

子ども教育学科



「令和の日本型学校教育」を担う教員に求められる

特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応能力

ICTや情報・教育データの利活用能力

育成プロジェクトをスタート!!

プロジェクト1

不登校・発達障害サポーター認証プログラム

不登校や発達障害で困っている子どもを心理的にサポートできる人材を養成するプログラムです。このプログラムで学ぶことで、高度な専門性と指導法の習得ができます。最終的には、准学校心理士の資格を得ることができます。

履修する科目例

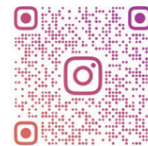
- 発達心理学
- 教育心理学
- 教育相談
- 障害児教育入門
- 自閉症児等教育総論
- LD・ADHD等教育総論

※准学校心理士は、学校生活における様々な問題に対して子ども自身、子どもを取り巻く保護者や教師、学校に対して、心理教育的援助サービスを行う日本学校心理会の「学校心理士」に準ずる資格です。

プロジェクト2

教育DXに対応可能な人材育成プログラム

DXとはデジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル化で新しい価値を生み出すことを指します。教育現場でもDXが進んでいます。小学校では、1年生から6年生の全員が自分専用の情報端末を持ち、毎日の学習で使ったり、プログラミングに挑戦したりしています。先生もICT(情報通信機器)を使って、分かりやすく教えたり、仕事を効率化したりしています。子ども教育学科では授業全体を通して、教育DXに対応できる人材の育成に力を入れています。



3000時間体験プログラム



教養・基礎・専門性を高める

● 教育実習 [連携学校園方式]

教育現場の多様な活動において、未来を担う子どもたちを指導する人間として十二分に対応できる能力を養っていくために、近隣の校園と密接な連携協力を実践的な指導力を身に付けられるようになっています。

- 「子どもと心身」「子どもと地域」「子どもと自然環境」などの講義等
- 「子ども支援地域活動Ⅰ・Ⅱ」などでのボランティア活動
- ゼミ活動としての子ども支援活動



実践力を高める

● 連携学校園 [実際の実習校園]



保育園、幼稚園、小学校、特別支援学校

● 協力団体 [地域での活動]



児童クラブ、放課後子ども教室、少年自然の家、放課後デイサービス、社会福祉施設、NPO法人 etc.

活動例1 不登校支援活動



都城市と連携した不登校対策支援プログラム「青空ラボ」

都城市との強力な協働により、南九州大学は令和6年4月から、都城キャンパスにおいて適応指導教室「青空ラボ」を新設しました。この特別なラボは、「学校に通いづらい、通えない児童・生徒たち」の居場所となります。学生はこの青空ラボの運営、通ってくる子ども達の支援に取り組んでいます。

活動例2 学校支援活動



都城市や三股町のSSS(スクールサポートスタッフ)、放課後学習会のサポートスタッフとして学生が雇用され、地域における教育活動のサポートをしながら、実践力を高めています。

体験プログラムにより社会で最も求められる「**コミュニケーション能力**」が身につき、**教育・福祉業界はもちろんのこと各種業界へも就職!!**

取得できる資格・免許

複数の資格・免許を取得し、将来の選択肢の幅を広げる

- 保育士資格 ○ 幼稚園教諭一種免許
- 小学校教諭一種免許
- 特別支援学校教諭一種免許

最大**3種類**の資格・免許を同時取得可能!

その他にも…

- 社会福祉主事任用資格 ○ ピアヘルパー資格 ○ 准学校心理士

NEW!!

高い就職率

万全の就職支援体制

4年連続!!
就職内定率

100%
(2023年度)

- 教員採用合格者 **31**名
- 公立保育所 **1**名
- 教員採用試験に合格して教員として働く卒業生 **168**名 (2014年度～2023年度)

就職対策は、「将来なりたい自分(夢)」を見つけ、その夢を実現するために必要な学びの習得を目的とした課外授業「夢を叶える塾」で実施しています。

医療・福祉のプロフェッショナルに

多岐にわたる活躍の場

保育士は、保育園(所)、認定こども園だけではなく、様々な児童福祉施設領域でのソーシャルワーカーとしても広く活躍できる資格です。

- 児童発達支援センター ○ 放課後等デイサービス
- 乳児院 ○ 児童養護施設
- 児童心理治療施設 ○ 医療機関(病棟保育士) etc.

不登校・発達障害サポーター認証プログラムを通して学びを深めることで、卒業後には、障害児保育の分野におけるリーダーとして活躍することが期待できます。